

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	商工課担当課長 田邊 幹浩	
市民-13	実施事業	商工会議所助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 商工課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	商工業振興の充実

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	事業者等	商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。
意図	事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため。	
効果	地域産業の振興と活力あるまちの創出を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	14,667	14,667	当初予算(千円)	14,667
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	14,667	14,667	一般財源	14,667
	人員配置数	0.1	0.1	人員配置数	0.1
人件費(千円)	798	805	人件費(千円)	801	
事業経費運営	総事業費(千円)	15,465	15,472	総事業費(千円)	15,468
	市民1人当りの経費(円)	88	88	市民1人当りの経費(円)	88
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 市内事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため、商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	鎌倉商工会議所を支援することにより、市内事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図り、地域産業の振興と活力あるまちの創造に努める。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	なし	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	なし	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、引き続き商工会議所と連携した中小企業への支援が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	商工会議所に対する補助								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	三浦市		
他市実績	有	有	有	有	有	無	有		

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	商工会議所は、商工業の総合的な改善発達を図り、社会一般の福祉の増進に資することを目的として、商工会議所法に基づき設置された団体であり、他市においても補助を実施している。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	商工会議所による指導件数(巡回指導、窓口指導及び創業指導の件数)						単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
商工会議所の指導件数の推移を把握するため	目標値	-	-	-	-	-	-				
	実績値	4,577	3,923	3,793	3,838	5,252	4,628				
	達成率	-	-	-	-	-	-				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	商工会議所の指導件数については、事業者の状況によって上下するものであるため、目標値は定めていない。商工会議所の指導が、多くの事業者の商工業の振興と総合的な改善・発達に寄与していると捉えている。
-----------------------	--